

2009年12月01日

8時55分現在 ドル/円相場：86.25-28

## 今日の手口 (NY 終値まで)

直近の日足は下げ余力の強いものではありませんが、トレンドを変えておらず、86円台での売り場探し。損切りポイントは87.50を超えとなります。一両日中のターゲットは85.20～84.60と見ています。

クロス/円は全般的に戻り売り方針継続。

ユーロ/円は、吹き値があった場合は131円 middle 近辺まで戻してもおかしくありませんが、基本は戻り売り。買いは様子見とします。強い下値抵抗は127.00～127.20 近辺。中長期的な下値抵抗は124～125円となります。

豪ドル/円は既に目先天井を見た可能性が高く、79～81円は中期的には売り場と見ています。日足の上値抵抗は79.40-50に出来ています。NZ円も月足が陰線引けとなり、基本は戻り売りです。日足の上値抵抗は62.10-20。中期的な上値抵抗は63～64円。

カナダ/円も84円～85円に抵抗が出来始めています。戻り売り方針で。

ZAR円はレンジ内の動きとなっておりますが、11円割れを見た場合は続落に注意。

### 【ドル/円、中長期戦略】

11月足は再び陰線引けとなり、この足が強い下値抵抗として働いていた87.50～88.00 近辺を実体ベースでも下抜けて終えています。ドルの更なる下落リスクが高い状態を示しており、今月中は引き続きドルの戻り売り方針継続となります。但し、101.45を高値として新たなドル下げトレンド形成の動きから既に8ヶ月が経過しており、経験則では8～9ヶ月で一旦ドル下げが終了する傾向にあります。一相場の最後はドルの下げ足が加速することも多く、年末年始に向けて一気に大底確認の動きが見られてもおかしくありません。目先は値動きに付いて行く方針で。但し、年末、年始にかけては突っ込み売りには注意したいところです。今月中の戻り余地は最大で88円台、下値余地は82.50前後と見ていますが、前述の通り、一相場の終りはオーバーシュートする可能性にも注意が必要です。

## 野線分析

直近の日足は実体の小さい陰線に終り、単体では下げ余力に欠けるものだが、前日の高値を上抜け切れておらず、上値を切り下げる流れには変化が見られない。一方で前日の太陽線の寄り付きレベル＝85.10-20を下支えとして続落を食い止める可能性を残しており、85円台前半からのドル売りには慎重に臨む必要がある。目先は86円台でのドルの売り場探し。短期トレンドは89円超えに値を戻さない限り、ドルの戻り売り方針継続。

上値は、86.60-70に軽い抵抗が、87.00-10にやや強い抵抗が出来ているが、87.40～87.60の抵抗をクリア出来れば88.10～88.60 近辺までドルの上昇余地が拡がり易くなるが、この場合でも吹き値は再び売り場。下値は、昨日に値動きの中で、86.00-10に抵

抗が出来たが強いものではない。この下の85.50-60、85.10-20にはやや強い抵抗が控えているが、下抜けた場合は84.60-70にある一段と強い下値抵抗をトライする動きへ。84.60～85.10ゾーンの下値抵抗は厚く、短期的にはこのレベル近辺でのドル売りは慎重に臨む必要がある。



© 2009/WFXA

当社に無断で複製または転送することは、著作権の侵害にあたります。民法の損害賠償責任に問われ、著作権法第119条により罰せられますのでご注意ください。

尚、このレポートは情報提供を目的としており、投資の最終判断は投資家自身でなさるようお願い致します。